

令和4年度 第3回「甲府市中小企業・小規模企業振興推進委員会」議事録要旨

日 時 令和4年11月24日（木） 15時00分～16時30分

場 所 甲府市役所本庁舎6階 大会議室

出席委員 西久保浩二委員長、田中由美副委員長、秋山育也委員、今井裕久委員、牛田祐生委員、勝俣賢一委員、下平浩一朗委員、濱田哲一委員、松本一雄委員、村松晴己委員

事務局 櫻林部長、依田商工振興室長、萩原商工課長、樋田商工課課長補佐、矢崎商工課課長補佐、土屋中心市街地振興課係長、市川商工課主事

次 第

1 甲府市中小企業・小規模企業振興推進委員会

(1) 開会

(2) 議事

ア 甲府市商工業振興指針の改定について

イ その他

(3) 閉会

(2) 議 事

ア 甲府市商工業振興指針の改定について

資料「(仮称)甲府市商工業振興行動計画」の内容を事務局から説明。

○委員からの意見等

(委員長) 第4章で掲載している事業が、今後推進していく事業となっている。「令和5年度検討」は、今後新たに行っていく取り組みとなり、「令和5年度継続実施」というのは今までも行っていた取り組みとなる。これらが、甲府市の商工振興に必要な取り組みとなるかご意見をいただきたい。

また、前回今井委員から意見のあった高齢者の就業促進については、どちらに追加されているのか。

(事務局) 11ページに記載している合同企業説明会やワークプラザ甲府における就労支援については、新卒の方のみではなく、一般の方が利用できるものとなっているので、そちらで位置づけをしている。

(委員長) 個別経営相談会については、年々実績が減少しているように見えるが、新型コロナウイルス感染症の影響か。

(事務局) 今年度の実績については10月末現在のものとなっている。

(委員) これらの事業は、これから実施しようとしていることなのか、すでに行ったことなのか。

(事務局) 体系図にも記載しているが、(新) と記載している箇所が新しい事業となる。

(委員) これから実施していく事業について、詳細を説明していただきたい。

(委員長) 「令和5年度検討」としているものが、これから実施していく事業となる。

事務局より「(仮称) 甲府市商工業振興行動計画」の中の新たに実施していく事業について説明。

(委員) まだ、具体的な内容にはなっていないのか。例えば、「事業承継補助金」についての金額がいくらになるのかなど、決まっているようであれば教えていただきたい。

(事務局) 現在、予算要求中のため、金額は固まっていないが、内容としては、スムーズな事業承継ができるようにサポートしていくようなものとしたい。山梨県でも実施しているので、それに補完できるような形で実施する予定である。

(委員長) 「支援します」という内容については具体的には決まっていないのか。

(事務局) 今回は広い意味で記載しているため、具体的なところは決まっていない。委員会の中で提示していく中で推進していきたい。

(委員長) 予算の規模等が分からないので、委員会の具体的なところまでは検討できないのではないかと。これから具体的になるということでしょうか。

(事務局) それで差し支えない。例えば、事業承継の補助金については、大きな規模ではなく、一部を補助できるような形を考えている。

(委員) 今回は、具体的な取組の良し悪しを議論するのか、実施することについて話し合うのか。

(事務局) 前回の委員会で取り組みについては、提示をして議論をしていただいている。その内容を踏まえて、今回再度内容の確認をしていただきたい。

(委員) 具体的なところが決まっていない状態では議論をするのが難しいのではないかと。実施しようとしていることはいいことだと思うので、具体的に実施してから

議論していくべきなのではないか。

また、「公共空間の利活用」とあるが、これは中心市街地の空き店舗に対する補助のことなのか。

(事務局) 公共空間の利活用は、県庁の南広場や中心市街地の芝生広場などの道路空間を活用して、ソフト事業を展開していくことで、賑わいを創出することをいう。街歩きなど、街中を回遊させるようなイベントを検討している。

(委員長) 継続事業については、継続の可否について、実施状況をもとにご意見をいただきたい。新たな事業については、今までの委員会の意見をまとめたものとなる。

新たな事業についての具体的などころはいつ頃わかるのか。

(事務局) 令和5年度に入ってから、詳細が固まっていくような形となる。

(委員) 課題については、委員会で既に議論されていることなのか。取り組み内容についても、中小企業等から意見をもらった内容を盛り込んでいるものなのか。

(委員長) 個々の事業についての課題や中小零細企業に対してニーズを調査したというような客観的なデータはないが、事務局の方で検討していただいた内容になる。

(委員) 具体的に何をやろうとしているかというのが、資料から見えてこなかったため、確認を取りたかった。

(委員) 具体的などころがわからないと、こちらも議論することが難しい。

(委員) 既存の事業については資料をいただいているが、事業の内容についてはやり方の改善を求めているのか。

(事務局) 大枠のところはこのまま行っていきたいが、やり方は臨機応変に対応していきたいと考えている。

(委員) 資料に記載のある内容については、年々内容を変えているのか、継続的に同じことを行っているのか。

(事務局) 個々の事業についても詳細については省略するが、例年通り事業内容の変更は特に行っていない。

(委員) 実績が減少している事業については、原因はわかっているのか。

(事務局) 令和2、3年度については新型コロナウイルス感染症の影響で中止して

いるようなケースもあるが、基本的は例年通り行っている。

（委員長）各事業が具体的に運用されてから、委員会内で検討を重ねていく方がいいのではないか。

（事務局）管理体制として、この委員会の中で実施している事業について内容を検討していくことを想定している。

（委員長）今回は、こういった取り組みをやりたいという宣言した形となる。ある程度のプランが固まってくれば、委員会内で意見を出しやすいのではないか。行動計画を実施するまでの流れをもう一度確認したい。

（事務局）来年度に市長に提出して、事業を実施していく予定である。今は、まだ方向性しかわからないような状態ではあるが、今までの委員会の中でいただいた意見をまとめたものを提示させていただいている。

具体的に実施するようになってから、この委員会内で取り組み内容や実施方法を精査していく予定である。

（委員長）今後、この委員会で取り組みの妥当性についても検討していき、管理していくということよいか。

（事務局）昨年度も女性の活躍と地場産業の振興について議論を行い、最終的に意見書として提出した。その内容もこの取り組みの中に含まれている。一つ一つの取り組みの検証を行いながら、行動計画を実施していきたい。

（委員長）テーマ等が妥当かどうかの意見をいただきたいということよいか。

（委員）新しい事業については意見をいいにくいですが、今までやってきた事業については具体的な取り組み内容についても精査してほしいということか。

（事務局）既存の事業については、資料に今まで行ってきたことを掲載しているが、内容を変えていった方が効果的ではないかというような意見をいただきたい。

（委員）自分の仕事に関わる分野についてはある程度意見を言うことができるが、セミナーは参加してみないと内容がいい悪いについては判断ができない。この資料だけを見て、判断することが難しい。

（事務局）委員の皆様によって関わる分野が異なるので、関わっているところについて意見をいただきたい。他にも広い視野でご意見をいただけるとありがたい。

（委員長）例えば、ジュエリーツーリズムについては、今年度既に2回実施しているという記載があるが、回数を増やす必要があるかというような意見を求めている

ということでしょうか。

(委員) ジュエリーツーリズムは、ジュエリーウィークのイベントの中で実施していただいたものになる。工房巡りとなっており、34社参加してくれている。そのうち工房は半分程度になっているが、参加者も多く、工房体験は人気があったので、とてもよかったと思う。山梨でジュエリー産業が活発であることを周知することができて、いいイベントになったのではないかと考えている。何度も実施するというよりは、通年で実施してもらえればいいのではないかと考えている。

(委員長) 効果的なイベントであったということか。

(委員) 県外からのお客様も多く、PRとしてはとても良いものになったと感じている。

また、タイ国とのつながりについては、3年前から行っている交流事業であり、今後も販路拡大のために、是非継続して行ってほしい。

(委員長) 既存の事業については、途中でコロナの影響も受けているが、継続実施を検討する上で作成していただいた資料が鍵となっている。

(副委員長) 若い世代にジュエリー産業を知ってもらうことが必要なもので、体験教室はとても効果的だと思う。また、労働者不足の問題もあるため、外国人の雇用も必要なこととなるのではないかと。

(委員) セミナーの実施という内容が多いが、セミナーの内容や参加人数などがわからないと、今後やっていくのが効果的なのかはわからないのではないかと。

(委員長) セミナー後のアンケートをとっていると思うが、回答内容を見た上で、実際にセミナー自体に効果があったのか考える必要があるのではないかと。

(事務局) 後継者育成セミナーや新入社員向けセミナーについては随時開催をしており、アンケートはとっている。回答内容を見ながら、随時セミナーの内容については変更等している。

(委員) 合同企業説明会について、商工会議所でも過去に実施していたが、就活の方法がインターネットを使ってやるようになって、多様化していったことに伴い、参加者が減ったため、実施しなくなった。甲府市で行っている合同企業説明会では、参加した方の成約率はどのくらいあるのか知りたい。

また、外国人向けの説明会についても、どういう形で実施されているのか知りたい。

(事務局) そちらの事業については雇用創生課で実施をしているため、担当課で集計しているか確認して、後日ご報告させていただきたい。

(委員) ほかにもBCPについては、商工会議所と市で作成をして、現在県に計画の審査をしていただいている。東日本大震災が発生した直後は、企業の間でもBCPを策定することについて、積極的であったが、年々その意識が薄れている。そのため、意識づけがとても難しいと感じている。

(事務局) 商工会議所と連携して、BCPの策定に対する意識づけができるようにし、支援も実施していけるようにしたい。

(委員長) 特に他にご意見がなければ、アンケートにご回答いただき、最終的な計画の作成をしていただきたい。

(事務局) 再度、皆様の意見を反映していきたい。

イ その他（今後の流れ）

事務局より、指針の改定に関するアンケート及び今後のスケジュールについて説明を行った。

(委員長) 以上で議事を終了します。ありがとうございました。

以 上